

# 教育研究業績書

2023年10月23日

所属：薬学科

資格：教授

氏名：辻本 勉

研究分野	研究内容のキーワード
糖尿病医療学、医療薬学、病態栄養学	インスリン、糖尿病教育、エンパワーメント、栄養輸液
学位	最終学歴
薬学士	神戸学院大学薬学部生物薬学科

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
1. インスリン自己注射に関するグループワーク	2019年10月14日現在	インスリン注射時の注意点について、地域講習会で研修を実施
<b>2 作成した教科書、教材</b>		
1. 糖尿病最新の治療2019-2021	2019年2月15日	糖尿病治療における最新の情報をアップデート
2. 糖尿病の薬学管理必携	2017年11月10日	薬剤師としての糖尿病薬物療法の知識の普及
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
1. 兵庫県病院薬剤師会専門薬剤師育成プログラム講師（栄養）	2013年4月1日～2017年3月31日	栄養領域専門薬剤師育成のためのプログラムを作成
2. 兵庫県病院薬剤師会西神戸支部臨床栄養講座講師	2009年11月1日～2012年3月31日	輸液の基礎、栄養輸液のポイントを開設
3. 兵庫県病院薬剤師会専門薬剤師育成プログラム講師（糖尿病）	2002年4月1日～2009年3月31日	糖尿病領域専門薬剤師育成のためのプログラムを作成
4. 糖尿病療養指導士兵庫県連合会での研修活動	1999年4月1日～現在	糖尿病療養移動に関する研修会講師
<b>4 その他</b>		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 資格、免許</b>		
1. 糖尿病薬物療法認定薬剤師	2017年6月	
2. 糖尿病療養指導士兵庫	2014年1月	
3. NST専門療法士	2007年11月	
4. 日本糖尿病療養指導士	2000年6月	
5. 薬剤師免許	1981年5月	
<b>2 特許等</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
<b>4 その他</b>		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
1. 糖尿病最新の治療 2019-2021	共	2919年2月15日	南江堂	配合薬のメリットとしては、服薬の利便性が高まることが期待され、さらに、服用錠数が減らせることで患者の心理的負担軽減や、アドヒアランス向上も期待できる。 編集（門脇孝、荒木栄一、綿田裕孝）第V章-辻本勉
2. さかえ	共	2018年12月	時事通信出版局	糖尿病患者が運転するときの注意点について解説する。第58巻12号
3. 糖尿病の薬学管理必携	共	2017年11月10日	じほう	「ライフステージ別の糖尿病」薬物療法について（小児、高齢者） 監修（清野裕、杉山雄一、門脇孝、南條輝志男）編集（日本くすりと糖尿病学会）VIII章辻本勉
4. DM Ensemble	共	2017年8月	日本糖尿病協会	6巻2号、pp44-47 高齢者糖尿病の血糖コントロール目標、高齢者糖尿病における薬物療法の注意点、糖尿病治療と多剤併用（ポリファーマシー）の問題など解説
5. ニュートリションケア	共	2016年1月	メディカ出版	9巻2号、pp132-135、心不全患者における薬物治療
6. 薬剤師のための糖尿病療養指導ガイド	共	2012年5月	じほう	門脇孝監修、pp156-160、低血糖の定義と対処方法について
7. チームで実践！！小	共	2012年2月	文光堂	高増哲也、深津章子編集、pp211-212 栄養管理に関連する薬剤の使

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
児臨床栄養マニュアル				い方と注意点について
8. チームで実践!! 小児臨床栄養マニュアル	共	2012年2月	文光堂	高増哲也、深津章子編集、pp211-212 栄養管理に関連する薬剤の使い方と注意点について
9. 糖尿病ケア	共	2011年10月	メディカ出版	8巻11号、pp1086-1089薬物療法に関する素朴な疑問へのQ&A
10. これでわかる 静脈栄養法	共	2011年9月	じほう	倉本敬二編集、pp1581-1588 糖尿病急性合併症における輸液の管理方法について
11. 症例から学ぶ糖尿病療養指導	共	2011年9月	じほう	朝倉俊成監修、pp86-88 (運動にて低血糖を繰り返す症例)、pp173-175 (家族へのグルカゴン指導)、pp194-196 (シックデイ時の対応)
<b>2 学位論文</b>				
<b>3 学術論文</b>				
1. インスリングラルギン製剤における先行およびバイオ後続品の高温環境下での含量変化から見た物理的性質の検討	共	2021年12月1日	くすりと糖尿病	インスリングラルギン製剤 (以下、グラルギン) には、先行品と同等性・同質性が証明されたバイオ後続品があるが、これらの物理的性質の差異を検討することを目的として、高温環境による影響がグラルギン含量に与える変化を指標として検討を行った。3種類のグラルギン製剤を、25, 38, 50, 70℃の恒温水槽内に3, 6, 12時間保管した試料に含有するグラルギンを液体クロマトグラフィーで測定した。各種条件下におけるグラルギン含量の変動を比較するために、25℃で保管した同一製剤の試料で示されたピーク面積を基準として各種温度・時間でのピーク面積を比較した。先行品の38℃6時間における環境下でのみ、グラルギン量に変化は認めなかったが、それ以外の環境においてグラルギン量は有意に変化を認めた。
2. 神経変性疾患患者に対する唾液分泌抑制効果のある5%スコポラミン軟膏の効果検証	共	2017年10月	医薬ジャーナル社	53巻10号、pp137-140 奥貞佳世子、島田真理、見上千昭、西窪奈津子、西尾孝、石原佳菜子、影山恭史、辻本勉
3. Usability of a microtapered needle (TN3305) for insulin treatment in Japanese patients with diabetes mellitus: a comparative clinical study with a standard thin wall needle	共	2006年8月	Diabetes Technology & Therapeutics.	8巻4号、pp489-494 Asakura, T, Seino, H, Nuno, K, Hashimoto, Mutou, T, Yamazaki, K, Kakutani, M, Daikoku, H, Sugiyama, K, Narasaki, K, Tsuji, K, Ohnishi, S, Oto, K, Tsujimoto, T, Nakano, R テーパー形状のインスリン注射針の有用性について検討
4. 生活習慣病におけるチーム医療	単	2006年3月	日本病態栄養学会誌	9巻3号、pp237-242、糖尿病治療におけるチームアプローチの有用性について
<b>その他</b>				
<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
1. 日本くすりと糖尿病学会共催企画～薬局での糖尿病患者支援を考える～		2019年10月	日本薬局学会学術総会	辻本勉
2. チームで支え合う 薬物治療を目指して		2018年10月	第5回日本くすりと糖尿病学会学術集会	
3. 医療倫理		2018年9月	第16回兵庫県立病院学会	医薬品の適応外使用について、倫理的視点から述べる
4. 医師が求める理想のCDEJ像 VS CDEJが求める理想の医師像～有機的な連携とCDEJの		2016年5月	第59回日本糖尿病学会年次学術集会	糖尿病療養指導において、薬剤師から見た理想とする医師像とは、薬剤師に明確な役割と責任を与え、信頼できるスタッフを育成できる。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
役割充実～				
5. CDEネットワークの構築		2015年9月	第4回日本くすりと糖尿病学会学術集会	日本くすりと糖尿病学会ネットワーク委員長としての、ネットワークのあり方について
6. 学会の将来への展望（ときめかそう“知関連携”～神戸への架け橋～）		2015年9月	第4回日本くすりと糖尿病学会学術集会	
7. 患者指導とエンパワメント		2015年1月	第18回日本病態栄養学会年次学術集会	エンパワーメント技法を活かした、薬剤師による糖尿病服薬指導について
8. 腎不全患者の栄養障害 Protein Energy Wastingへの対応を考える		2013年2月	第28回日本静脈経腸栄養学会	透析患者の栄養障害は生命予後を規定する因子であり、体重減少や栄養指標の悪化をモニタリングし低アルブミン血症や透析低栄養の是正が必要である。薬剤師の専門性を生かした栄養療法へのアプローチとしては、適正な薬剤の処方提案や栄養輸液の処方設計が挙げられる。
9. 食品と薬品の相互作用（わずか0.1mgのビタミンKがワーファリンの効果を減弱させる）		2009年9月	第31回日本臨床栄養学会総会、第30回日本臨床栄養協会総会、第7回大連合大会	食品と薬品の相互作用、特にワーファリンを中心に食品や栄養補助食品とのビットフォールを解説
10. 県立病院の明日を拓く人材の育成		2007年9月	第5回兵庫県立病院学会	県立病院教育研修委員長として、明日を拓く人材育成のための方策について
<b>2. 学会発表</b>				
1. 入院時持参薬における薬物間相互作用の実態調査		2019年11月	第29回日本医療薬学会	辻本勉、豊田祥子、福谷真由、磯元啓吾、井上智恵、西尾孝、内田享弘 持参薬数と添付文書に記載されている相互作用の件数とは、正の相関があることがわかった（ $y=0.4018x-0.2354$ ）
2. L-OHPによる重篤な薬剤誘発性血小板減少症にDexamethasone pulse療法が著効した1例		2019年3月	日本臨床腫瘍薬学会学術大会2019	足立萌、辻本勉
3. フロセミド投与によってメトトレキサート排泄遅延を起こした1症例		2019年3月	日本臨床腫瘍薬学会学術大会2019	大原沙織、辻本勉
4. 末期心不全患者における呼吸困難緩和に対するモルヒネ製剤の使用実態調査		2019年3月	第83回 日本循環器学会学術集会	國東佑美、辻本勉
5. NST介入症例の下痢発現患者における使用薬剤および対応内容の実態調査		2019年2月	第34回日本静脈経腸栄養学会学術集会	國米由希、辻本勉
6. 腎機能障害、せん妄の一因としてヨードホルムガーゼが考えられた一症例		2019年1月	第40回日本病院薬剤師会近畿学術大会	二木麻里奈、辻本勉
7. 兵庫県立尼崎総合医療センターにおける頭頸部癌患者に使用したニボルマブの安全性についての調査発現状況について		2019年1月	第40回日本病院薬剤師会近畿学術大会	永岩早稀、辻本勉
8. 兵庫県立尼崎総合医療センターにおける免疫チェックポイント阻害薬の有害事象		2019年1月	第40回日本病院薬剤師会近畿学術大会	木下紗江、辻本勉

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
の発現状況について				
9. せん妄・転倒リスクに焦点をおいた不眠時指示について		2019年1月	第40回日本病院薬剤師会近畿学術大会	大庫百代、辻本勉
10. 外来注射抗癌剤施行患者に対するB型肝炎再活性化防止を目的とした検査推進の取り組み		2019年1月	第40回日本病院薬剤師会近畿学術大会	前田和輝、辻本勉
11. 尼崎市薬剤師会保険薬局と尼崎総合医療センターとの連携推進研修会の活動について		2019年1月	第40回日本病院薬剤師会近畿学術大会	生盛春菜、辻本勉
12. 医療用麻薬を用いた疼痛および呼吸困難に対するレスキュー説明書の有用性について		2019年1月	第40回日本病院薬剤師会近畿学術大会	渡部裕之、辻本勉
13. 化学療法誘発性神経性疼痛に対するプレガバリン療法が有用であった肝芽腫の3歳女児例		2018年11月	第60回日本小児血液・がん学会	永井浩章、辻本勉
14. 尼崎総合医療センターにおける末梢カテーテル関連血流感染症と輸液の現状		2018年11月	第66回日本化学療法学会西日本支部会	馬場奈津美、辻本勉
15. ウガンダ東部カプチョルワ県における公的医療施設内薬局機能向上への取り組み（青年海外協力隊の薬剤師隊員活動報告）		2018年11月	第28回日本医療薬学会	岡本美美、辻本勉
16. 妊娠中期に髄膜炎疑いとなりバンコマイシンを使用した症例		2018年11月	第28回日本医療薬学会	門倉史枝、辻本勉
17. 当院におけるケイセントラの使用状況について		2018年11月	第28回日本医療薬学会	濱端綾太、辻本勉
18. ニボルマブ、ペムブロリズマブにおける糖尿病・内分泌系疾患検査状況に関する過去起点コホート研究		2018年11月	第59回日本肺癌学会学術集会	新川実季、辻本勉
19. 麻薬使用外来患者の疼痛マネジメントを目的とした服薬情報提供書を用いた薬薬連携について		2018年10月	第57回全国自治体病院学会	田中雅子、辻本勉
20. 外来がん化学療法におけるインシデント減少に向けた薬剤部の取り組み		2018年9月	第16回県立病院学会	佐野隆大、辻本勉
21. 妊娠中のバンコマイシン使用と児への影響について		2018年9月	第16回県立病院学会	門倉史枝、辻本勉

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
22. 敵は内にあり ～救急・集中治療担当薬剤師のピットフォールとその対策～		2018年5月	第21回日本臨床救急医学会総会・学術集会	大谷美奈子、辻本勉
23. バンコマイシンの初回トラフ値が10 μg/mL未満であった症例の投与量調査		2017年11月	第27回日本医療薬学会年会	直朋弘、島田真理、本上ほなみ、石井恵理香、大原沙織、梶田祐三子、若松亮、馬場奈津美、大谷美奈子、見上千昭、西窪奈津子、西尾孝、辻本勉
24. 薬剤乳汁移行性情報提供に関する取り組み		2017年11月	第27回日本医療薬学会年会	門倉史枝、國東佑美、本上ほなみ、二星知紗、永井浩章、井上智恵、見上千昭、西窪奈津子、西尾孝、辻本勉
25. Loffler心筋症を合併した急性リンパ性白血病児に対するデクスラゾキササン予防投与		2017年11月	第59回 日本小児血液・がん学会学術集会	永井浩章、小林健一郎、磯元啓吾、井上智恵、見上千昭、西窪奈津子、西尾孝、末廣穂、宇佐美郁哉、毎原敏郎、辻本勉
26. 低血糖で救急搬送された糖尿病患者の実態調査		2017年10月	第5回くすりと糖尿病学会	岡田悠加、辻本勉
27. 保険薬局における糖尿病患者へのシックデイルールの対応について		2017年10月	第5回くすりと糖尿病学会	小林真弓、辻本勉
28. 淡路医療センターにおけるSGLT2 阻害薬の使用実態について		2017年10月	第5回くすりと糖尿病学会	片山瑞補、辻本勉
29. 小児がん化学療法に対する抗がん剤曝露対策パンフレットの作成について		2017年10月	第44回日本小児臨床薬理学会	本上ほなみ、國東佑美、二星知紗、門倉史枝、永井浩章、井上智恵、見上千昭、西窪奈津子、西尾孝、辻本勉
30. 酸化マグネシウム製剤服用患者における血清マグネシウム濃度測定の実態調査		2017年9月	第14回県立病院学会	片山瑞補、辻本勉
31. 冠動脈造影における造影剤腎症の発現と予防に対する調査		2017年9月	第14回県立病院学会分科会	猪股浩介、辻本勉
32. 薬剤乳汁移行性情報提供に関する取り組み		2017年9月	第15回兵庫県立病院学会	門倉史枝、國東佑美、本上ほなみ、二星知紗、永井浩章、井上智恵、見上千昭、西窪奈津子、西尾孝、辻本勉
33. 持続的腎代替療法及び血漿交換施行中の小児のバンコマイシン初期投与設計に難渋した一症例		2017年9月	第15回兵庫県立病院学会	後藤真奈美、橋本貴史、大谷美奈子、見上千昭、西窪奈津子、西尾孝、辻本勉
34. 集中治療担当薬剤師のフローチャート作成による薬物療法介入		2017年9月	第15回兵庫県立病院学会	馬場奈津美、後藤真奈美、橋本貴史、大谷美奈子、見上千昭、西窪奈津子、西尾孝、辻本勉
35. 尼崎総合医療センターにおけるエンパグリフロジン診療科別処方患者の患者背景及び有害事象の比較		2017年9月	第6回日本くすりと糖尿病学会学術集会	久保祥子、永岩早稀、坊ヶ内協子、田中雅子、見上千昭、西窪奈津子、西尾孝、辻本勉
36. 集中治療担当薬剤師のフローチャート作成による薬物療法介入		2017年5月	第20回日本臨床救急医学会総会・学術集会	馬場奈津美、後藤真奈美、橋本貴史、大谷美奈子、寺崎展幸、見上千昭、西窪奈津子、西尾孝、辻本勉

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
37. バンコマイシ適正使用には薬剤師による血中濃度検査オーダ実施が有効である		2017年2月	第31回日本環境感染学会	岡野新、辻本勉
38. Linezolid による血小板減少発症頻度と危険因子の検討		2017年2月	第38回日本病院薬剤師会近畿学術大会	畑祥平、辻本勉
39. ビーフリード輸液投与患者における血管痛・静脈炎発症の要因と頻度調査（第2報）		2017年2月	第38回日本病院薬剤師会近畿学術大会	檀和貴、辻本勉
40. ビーフリード輸液投与患者における血管痛・静脈炎発症の要因と頻度調査		2017年1月	第37回日本病院薬剤師会 近畿学術大会	檀和貴、辻本勉
41. 淡路圏域における災害時の医薬品管理・供給体制について		2016年9月	第13回県立病院学会	尾向紗由理、辻本勉
42. 高齢者への薬物投与における問題点～ 持参からの評価～		2016年9月	第13回県立病院学会	陣田剛志、辻本勉
43. 外来患者の服薬状況把握に関するアンケート調査について		2016年8月	第18回近畿薬剤師学術大会	青井直樹、辻本勉
44. 薬剤師の血中濃度検査オーダ実施による適正使用の推進について		2016年2月	第30回日本環境感染学会	藤原和彦、辻本勉
45. 麻薬搬送の効率化における業務改善について		2016年1月	第36回日本病院薬剤師会近畿学術大会	嶋田友香、辻本勉
46. 淡路医療センターのメサドン使用状況について		2016年1月	第36回日本病院薬剤師会近畿学術大会	畑祥平、辻本勉
47. ICU・救急病棟における薬剤師の常駐体制への取り組みについて		2016年1月	第36回日本病院薬剤師会近畿学術大会	岡田悠加、辻本勉
48. VCM 適正使用に向けた薬剤師による使用患者の全例把握の取り組み		2016年1月	第36回日本病院薬剤師会近畿学術大会	岡野新、辻本勉
49. 兵庫県立淡路医療センターの臨床教育について		2016年1月	第36回日本病院薬剤師会近畿学術大会	仲野笑美、辻本勉
50. 糖尿病専門医が勤務しない基幹院の循環器内科における糖尿病薬の処方実態		2015年11月	第3回日本くすりと糖尿病学会	岡田悠加、辻本勉
51. 残薬調整に向けた取り組み		2015年10月	第54回全国自治体病院学会	辻本勉保険薬局と病院薬剤師の連携による情報共有が円滑な医師への情報提供に繋がる可能性がある。
52. 病棟サテライト薬局における調剤業務について		2015年10月	第53回全国自治体病院学会	島本章義、辻本勉
53. 処方せんコメントの充実による均質な鑑査実現に向けて		2015年9月	第12回兵庫県立病院学会	青井直樹、辻本勉
54. がん化学療法レジメ		2015年9月	第12回兵庫県立病	岩根奈緒美、辻本勉

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
ン管理システム導入による効果と薬剤師による未然回避について			院学会	
55. がん化学療法レジメン管理 システムの評価と薬剤師による安全教育		2015年9月	第24回日本医療薬学会	上野陽介、辻本勉
56. 利尿剤による利尿後の術後心房細動発症抑制		2014年3月	第78回日本循環器学会学術集会	藤原和彦、辻本勉
57. 外来化学療法におけるQOLの経時的定量的評価		2014年2月	第35回日本病院薬剤師会近畿学術大会	児島雄介、辻本勉
58. 淡路医療圏域における感染防止対策～地域連携の構築と成果～		2014年2月	第29回日本環境感染学会総会	藤原和彦、辻本勉
59. 電子カルテを中心とした医薬品の安全管理体制の構築		2013年11月	第33回医療情報連合大会	城古 晃、辻本勉
60. 糖尿病療養指導における兵庫県地域認定制度について		2013年11月	第2回日本くすりと糖尿病学会学術集会	辻本勉 地域貢献への体制づくりの確立を図ることが必要である
61. 外来化学療法室への薬剤師の常駐化による患者の安全管理と充実した情報提供 ～服薬指導実施100%を目指して～		2013年8月	第11回兵庫県立病院学会	岡田悠加、辻本勉
62. 持参薬システム（J-レポーター）の導入と服薬指導の推進について		2013年8月	第11回兵庫県立病院学会	畑 祥平、辻本勉
63. 小児ネフローゼ症候群患者に対する薬剤管理指導と適正な薬剤使用に向けての取り組み		2013年1月	第34回 日本病院薬剤師会近畿学術大会	池田絵里佳、辻本勉
64. 兵庫県立こども病院におけるバンコマイシンの使用状況調査－抗菌薬TDMガイドラインとの比較－		2013年1月	第34回 日本病院薬剤師会近畿学術大会	森田紗代、辻本勉
65. 小児救急に誤飲で来院する患者の誤飲物質は多様である		2012年10月	第22回日本医療薬学会	辻本勉 小児救急に誤飲を主訴に来院する患者の誤飲物質について調査報告
66. 門前薬局のない小児専門病院が院外処方箋を発行したときの課題（第2報）		2012年10月	第45回日本薬剤師会学術集会	辻本勉 こども専門病院での複雑な処方に対する、院外薬局の対応状況について問題点を指摘
67. 小児がん化学療法におけるアプレピタントの制吐効果に関する検討		2012年9月	第10回兵庫県立病院学会	上野陽介、辻本勉
68. 疑義照会内容から考える院外処方箋の課題〈保険薬局が病院近隣にない場合〉		2012年1月	第33回日本病院薬剤師会近畿学術大会	池田絵里佳、辻本勉
69. 小児への苦い薬の飲		2011年8月	第9回兵庫県立病院	福田朝恵、辻本勉

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
ませ方			学会	
70. 小児病院における TPN 評価シートの作成		2011年2月	第26回日本静脈経腸栄養学会	上野陽介、辻本勉
71. 輸液の違いが細菌の増殖におよぼす影響について		2011年2月	第26回日本静脈経腸栄養学会	辻本勉 種々の輸液での細菌増殖の違いを報告し、臨床での安全管理方法について警告する
72. 経皮的心房中隔欠損閉鎖術後に生じる頭痛予防のためのクロピドグレルの効果		2011年1月	第32回日本病院薬剤師会近畿学術大会	井上量代、辻本勉
73. 小児がん患者における嘔吐発現に影響を及ぼす要因の検討		2010年11月	第20回日本医療薬学会年会	汐谷 恵、辻本勉
74. 兵庫県立こども病院における院外処方せん発行の課題		2010年10月	第43回日本薬剤師会学術集会	辻本勉 こども病院における院外処方せんは複雑で長期間の処方が多く、調剤時での患者とのトラブルについて報告し、保険薬局のあり方について解説
75. 血管外漏出時に注意すべき薬剤の情報提供について - 非細胞毒性薬剤一覧表の作成 -		2010年8月	第8回兵庫県立病院学会	藤永仁美、辻本勉
76. 「お薬の上手な与え方」に関するパンフレットの作成と評価～小児のコンプライアンス向上を目指して～		2010年8月	第8回兵庫県立病院学会	井上量代、辻本勉
77. 病院経営を考えた薬剤師の取り組み		2010年8月	第8回兵庫県立病院学会	福田朝恵、辻本勉
78. 当院における TPN 処方実態調査～薬剤師の立場から～		2010年2月	第25回日本静脈経腸栄養学会	上野陽介、辻本勉
79. 小児静脈栄養におけるビタミンの投与量は適正に行われているか		2010年2月	第25回日本静脈経腸栄養学会	辻本勉 小児静脈栄養において、高カロリー輸液に添加する総合ビタミン製剤について、年齢別に適正な投与量の決定方法について解説
80. 小児静脈栄養におけるビタミンの投与量の現状		2010年1月	第31回日本病院薬剤師会近畿学術大会	井上量代、辻本勉
81. 小児専門病院における血液腫瘍科病棟での薬剤指導		2009年10月	第47回日本癌治療学会総会	上田里恵、辻本勉
82. L-asparaginase により Grade 4 の高トリグリセリド血症をおこした 1 症例		2009年10月	第19回日本医療薬学会年会	汐谷恵、辻本勉
83. 治験コーディネーターから見た医師主導治験の現状と問題点 - 企業治験と比較して -		2009年8月	第7回兵庫県立病院学会	三谷仁美、辻本勉
84. 当院の職員に対する水痘・麻疹・風疹・流行性耳下腺炎の感染予防の取り組み		2009年2月	第24回日本環境感染学会総会	藤原康浩、辻本勉
85. メチルマロン酸血症に対し栄養療法と薬		2009年2月	第24回日本静脈経腸栄養学会	辻本勉 蛋白制限を行う場合には、血中アミノ酸分析を参考に必須アミノ酸



研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
物療法が奏功した1例				の投与量を決定する必要があると考えられた
86. こども病院における臨床試験コーディネーターの現状と課題－逸脱事例を振り返って－		2009年1月	第30回日本病院薬剤師会近畿学術	日隈絵里奈、辻本勉
87. がん化学療法モニタリングシートを活用した薬剤管理指導業務－急性リンパ性白血病プロトコルJALCL-S-ALL02を対象に－		2009年1月	第30回日本病院薬剤師会近畿学術	汐谷恵、辻本勉
88. 開局と病院が手を取り合って広がる深まる薬業連携（第3報）－ワーファリン適正使用に向けて（1）－		2008年10月	第41回日本薬剤師会学術集会	辻本勉 病院と薬局による、ワーファリン効果の適正化に向けた取り組みについて報告
89. 兵庫県立病院薬剤部における薬品使用効率向上への取り組み		2008年10月	第47回全国自治体病院学会	加古学、辻本勉
90. こども病院における治験業務の現状について－院内CRC設置5年目の検証－		2008年9月	第6回兵庫県立病院学会	福田朝恵、辻本勉
91. 薬業連携による正確な持参薬情報の入手－白内障手術患者での試み－		2008年2月	第29回日本病院薬剤師会近畿学術	井上智恵、辻本勉
92. ICTによる手指消毒徹底への取り組み		2008年2月	第29回日本病院薬剤師会近畿学術	雀部貴美代、辻本勉
93. 薬剤師による糖尿病療養指導の実態調査		2007年5月	第50回日本糖尿病学会年次学術集会	辻本勉
94. 当院における栄養サポートチーム（NST）と薬剤師の役割		2005年9月	第2回兵庫県立病院学会	辻本勉 尼崎病院における栄養サポートチーム立ち上げと薬剤師の役割について報告
95. 高カロリー輸液製剤投与により代謝性アシドーシスが発現した症例		2000年10月	第10回日本病院薬学会	辻本勉 ワンバック製剤を酸性にするために過度な無機酸（塩酸）を添加することで、腎障害のある患者が重炭酸の再吸収が不十分で代謝性アシドーシスによる死亡事例を報告
<b>3. 総説</b>				
1. 特殊病態下における栄養管理	共	2013年8月	日本病院薬剤師会	49巻8号 pp839-843 特殊病態下における栄養管理について
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
1. 最新の糖尿病薬物療法		2018年11月	若手職員研修会	アメリカ糖尿病協会、ヨーロッパ糖尿病協会が発表した2型糖尿病患者への薬物療法アルゴリズムの解説
2. 薬局窓口における患者対応から、患者の問題点を探る		2018年8月	平成30年度薬業連携推進研修会	糖尿病療養指導を行う上で、エンパワーメントの実践は重要である。場面を、薬局窓口として、患者と薬剤師の会話から、患者が抱える問題点を探るというロールプレイを開催
3. 安全で適切なインスリン注射手技について		2018年7月	平成30年度薬業連携推進研修会	イタリアで開催されたフォーラムにて通達されたりリコメンデーションに基づき、インスリン注射について論理的思考から考える。実技実習も行い、リポハイパートロフィーのモデルを使用した体験も実施
4. 抄録の書き方		2015年8月～	レジデント研修	発表抄録の正しい書き方について
5. 輸液の基礎		2015年6月～	レジデント研修	輸液の知識

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
6. 病院概要、薬剤師倫理、守秘義務		2015年4月～	レジデント研修	
7. 栄養管理の視点からみた薬物療法の実際		2014年12月	淡路医療センター研修会	
8. 糖尿病療養指導士兵庫県連合会の活動について		2014年7月	兵庫県保険医協会 淡路支部日常診療勉強会	糖尿病療養指導士兵庫県連合会の活動について紹介
9. 糖尿病マネジメント～地域糖尿病療養指導士認定制度と薬剤師の役割～		2014年4月	洲本糖尿病シンポジウム	地域糖尿病療養指導士認定制度についてその認定方法と薬剤師の役割について解説
10. 糖尿病領域におけるこれからの薬剤師		2014年4月	これからの糖尿病治療薬を考える会	糖尿病領域におけるこれからの薬剤師について解説
11. ケーススタディ2		2013年12月～	日本糖尿病療養指導士認定機構 認定更新者用講習会	糖尿病に対する適切な薬物の選択ができる インスリン自己注射・血糖自己測定導入に向けて 適切な指導ができる
12. 日本くすりと糖尿病学会設立について		2012年4月	第11回糖尿病療養指導士兵庫県連合会講演会	日本くすりと糖尿病学会が設立したので、学会の方針について紹介
13. 経済的側面から見た医薬品の有効活用		2011年12月	県立こども病院薬剤部研修	
14. 他職種が栄養士に求めること～チーム医療への参画を目指して～		2011年1月	兵庫県栄養士会研修	栄養士さんのための末梢輸液のポイント
15. 医薬品の安全管理 ハイリスク薬を中心に		2010年11月	兵庫県立こども病院 安全研修会	
16. 薬剤師向けの栄養教育「西神戸地域での勉強会を実施して」		2010年6月	第13回兵庫NST研究会	
17. 気をつけたい 栄養剤と薬品の飲み合わせ		2010年1月	第25回 こども病院NST勉強会	ワーファリン（血液凝固阻止薬）を服用している患者では、栄養剤に含まれるVit.Kに注意！ 亜鉛と銅の危険な関係！！ 経腸栄養剤で起こる下痢！チェックポイント、健康食品と医薬品の相互作用
18. 輸液の基礎、栄養必要量、投与設計		2009年11月～	兵庫県病院薬剤師会西神戸支部臨床栄養研究会	
19. 濃厚流動食と銅欠乏症一胃瘻栄養中に発症した亜鉛投与による銅欠乏症一		2009年11月	第12回Central播州肝疾患懇話会	経腸栄養剤に含有する亜鉛量によって、銅の血中濃度低下による貧血についてデータを紹介
20. インスリン注射について		2009年8月	こども病院合同糖尿病カンファレンス	インスリン自己注射を指導する時のポイント
21. 高齢者のインスリン投与の良否が血糖コントロールを決定する		2009年8月	姫路糖尿病懇話会	高齢者特有の問題点を提示。特にインスリン注射では手技の獲得が肝要であることを解説
22. 栄養管理の知識を活かした薬剤管理指導		2008年11月	関西POS研究会 第34回公開講座	薬剤管理指導において、栄養管理の視点を中心に解説
23. インスリン使用患者への 指導のポイント		2008年7月	兵庫県トータルケア研究会	
24. 慢性腎臓病（CKD）と透析 一降圧薬を中心に一		2007年12月	柏原病院医師薬剤師合同研修会	
25. インスリン製剤の調剤事故防止対策について		2005年9月	兵庫県薬剤師会研修会	インスリン製剤の調剤事故事例をもとに防止対策について解説
26. 栄養管理の視点からみた薬物療法の実際		2003年12月	掖済会病院NST研修会	

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
27. 消化機能に影響を及ぼす医薬品から輸液の管理まで		2002年9月	兵庫県病院薬剤師会	
28. 糖尿病治療専門薬剤師育成プログラム		2002年5月～	兵庫県病院薬剤師会	目標、経口薬、インスリン、教育、心理と行動、腎症、急性合併症、臨床検査、網膜症、緊急災害時など
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2022年6月～現在	日本糖尿病療養指導士認定機構 理事
2. 2022年4月～現在	第11回日本くすりと糖尿病学会副組織委員長
3. 2020年1月1日～現在	日本くすりと糖尿病学会副理事長
4. 2016年10月	第5回日本くすりと糖尿病学会学術集会大会長
5. 2016年6月～現在	日本糖尿病療養指導士認定機構認定委員
6. 2010年1月1日～現在	日本くすりと糖尿病学会理事
7. 2010年1月から2019年12月31日	日本くすりと糖尿病学会理事、ネットワーク委員長
8. 2008年6月～2016年5月	日本糖尿病療養指導士認定機構試験委員
9. 2006年1月～2007年12月	日本医療薬学会専門薬剤師育成委員会糖尿病療養指導士小委員
10. 2002年11月～現在	糖尿病療養指導士兵庫県連合会副理事長
11. 2001年9月～2004年12月	日本医療薬学会専門薬剤師育成委員会委員